

指定管理者実績報告の概要及び評価

所管課	観光課
-----	-----

1 対象施設

公の施設の名称	武雄市川古の大楠公園		
所在地	武雄市若木町大字川古7845番地1		
施設の設置目的	本市の観光事業の振興及び憩いの場として市民の利用に供するため、武雄市川古の大楠公園を設置する		
指定管理者	団体名	若木町まちづくり推進協議会	
	所在地	武雄市若木町大字川古7474番地	
非公募	指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日	評価実施年 5年のうち5年目

2 利用状況

成果指標	目標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1 施設利用者数 (人)	26,000	26,262	28,049	26,310	23,230	23,130
2 自主事業収入 (円) ※	10,000,000	10,955,948	11,122,061	10,790,262	9,644,288	11,018,843

※自主事業収入には、物販の預かり金も含んでいる。実際の収入は、販売手数料分となる。

3 指定管理業務にかかる収支状況

単位：千円

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入計	16,163	16,334	15,994	14,816	16,210
指定管理料	4,971	4,971	4,971	4,971	4,971
利用料収入	236	241	233	201	220
自主事業収入ほか	10,956	11,122	10,790	9,644	11,019
支出計	16,163	16,334	15,994	14,816	16,210
事業費	4,811	5,238	5,097	5,309	5,806
内 人件費	3,637	3,949	3,926	4,085	4,270
内 再委託料	0	0	0	0	0
自主事業費	11,352	11,096	10,897	9,507	10,404

4 事業評価

区分	評価項目	自己評価	所管評価
1 人員体制	施設の運営に支障がないスタッフの配置と研修の実施	B	B
2 情報提供	ホームページやSNS、掲示板、回覧板等適切な方法での施設の情報提供がされている。	B	C
3 サービス向上の企画立案	サービス向上のための取組があり、実践している。	B	B
4 施設利用	利用者が施設利用にあたってスムーズに手続きができる。 利用者が不便なく施設利用ができる。	B	B
5 施設維持管理	施設の維持管理が適正に行われている。	A	B
6 物品の管理	物品の管理が適正に行われている。	A	B
7 修繕改修	施設の修繕が適正に行われている。	A	A
8 利用者対応	利用者への対応が適正に行われている。	A	A
9 苦情対応	利用者からの苦情に対して、対応ができている。	A	B
10 環境配慮	周辺環境や環境負荷に配慮した取組があり、実践している。	A	B
11 経費削減	経費削減につながる取組があり、実践している。	A	B

※評価基準

A	十分な成果が認められる。業務に対し積極的な工夫や改善の取組がみられ、成果が表れている。
B	成果が認められる。業務に対し工夫や改善の取組みがみられ、今後成果が期待される。
C	標準的な業務の水準を満たしている。
D	業務の水準に対し改善すべき事項がみられる
E	業務の水準を満たしておらず、すみやかな改善が必要である。

5 指定管理者の自己評価

からくり人形の撤去による空きスペースを有効活用し、ギャラリーとして提供。
ポスターの貼付位置を統一して外から店内が見えるように工夫した。

6 所管評価

施設はきれいに手入れされている印象を受ける。市への報告も迅速である。
販売商品は様々な種類を仕入れる努力をしており、従業員の接客態度も良好である。
業務内容に対し人員配置が過剰に見える部分もあるが、大型観光バスの来訪が読めない状況を踏まえると、一定の合理性はあると考えられる。定期的にイベント等も実施しており、売上も目標達成できている。今後は情報発信等に力を入れていけるとさらに良い施設になると考える。

指定管理者実績報告の概要及び評価

所管課	観光課
-----	-----

1 対象施設

公の施設の名称	武雄市竹古場キルンの森公園		
所在地	武雄市武内町大字真手野24001番地1		
施設の設置目的	本市の観光及び産業の振興並びに憩いの場として市民の利用に供するため、武雄市竹古場キルンの森公園を設置する		
指定管理者	団体名	武雄市竹古場キルンの森公園運営協議会	
	所在地	武雄市武内町大字真手野24001番地1	
非公募	指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日	評価実施年 5年のうち5年目

2 利用状況

成果指標	目標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1 施設利用者数 (人)	6,000	4,777	5,216	6,225	6,718	7,158
2 自主事業収入 (円)	2,000,000	1,981,892	1,976,946	2,757,617	4,023,503	5,187,771

3 指定管理業務にかかる収支状況

単位：千円

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入計	9,068	10,143	9,931	11,351	12,471
指定管理料	6,676	6,676	6,676	6,676	6,676
利用料収入	410	542	497	651	600
自主事業収入ほか	1,982	2,925	2,758	4,024	5,195
支出計	7,935	9,463	9,205	10,708	11,513
事業費	5,570	6,014	6,447	6,701	6,962
内 人件費	4,225	4,402	3,945	4,345	4,331
内 再委託料	0	0	0	0	0
自主事業費	2,365	3,449	2,758	4,007	4,551

4 事業評価

区分	評価項目	自己評価	所管評価
1 人員体制	施設の運営に支障がないスタッフの配置と研修の実施	C	B
2 情報提供	ホームページやSNS、掲示板、回覧板等適切な方法での施設の情報提供がされている	B	A
3 サービス向上の企画立案	サービス向上のための取組があり、実践している。	C	A
4 施設利用	利用者が施設利用にあたってスムーズに手続きができる。 利用者が不便なく施設利用ができる。	B	B
5 施設維持管理	施設の維持管理が適正に行われている。	C	B
6 物品の管理	物品の管理が適正に行われている。	C	B
7 修繕改修	施設の修繕が適正に行われている。	C	B
8 利用者対応	利用者への対応が適正に行われている。	B	B
9 苦情対応	利用者からの苦情に対して、対応ができている。	C	B
10 環境配慮	周辺環境や環境負荷に配慮した取組があり、実践している。	C	B
11 経費削減	経費削減につながる取組があり、実践している。	C	B

※評価基準

A	十分な成果が認められる。業務に対し積極的な工夫や改善の取組がみられ、成果が表れている。
B	成果が認められる。業務に対し工夫や改善の取組みがみられ、今後成果が期待される。
C	標準的な業務の水準を満たしている。
D	業務の水準に対し改善すべき事項がみられる
E	業務の水準を満たしておらず、すみやかな改善が必要である。

5 指定管理者の自己評価

新型コロナが5類へ移行し、夏休み以降の陶芸体験の売り上げが大幅に向上了し団体以外での来店者が増えた。SNSなどの宣伝効果、じやらんなどのネット予約サービスを利用した結果だと思います。ただし、陶芸体験は後工程があるため、スタッフの人数は3人のままで残業などがとても増加してしまいました。体験作品の処理で、クリスマスイベントの作品も作成が難しくアルバイトを雇ったりせざるを得なかつたため人件費などの経費が増加しました。今後は無理のない範囲で陶芸体験を受ける、サービスの向上などで差別化を図りたいと思います。

6 所管評価

SNSでの積極的情報発信に加え、イベント企画・イベント出店・ネット予約を取り入れると、売上向上の努力をしている。観光協会等各団体とも連携しての顧客獲得に力を入れている点も評価できる。結果として売上の大幅アップ（純利益の増）と、結果に繋がっている。

施設も清潔に保っており、周辺環境も手入れがなされている。また、専属スタッフの待遇に対して改善を検討するなど、職場環境の改善についても取り組んでいる。

指定管理者実績報告の概要及び評価

所管課	商工課
-----	-----

1 対象施設

公の施設の名称	武雄市特産品等展示販売飲食施設（黒髪の里）		
所在地	武雄市山内町大字三間坂甲14697番地2		
施設の設置目的	市内地場産品の展示、販売、飲食の提供及び取引のあっせん、観光等の紹介並びに情報の提供を行い、もって市の活性化に資するため		
指定管理者	団体名	一般社団法人 黒髪の里	
	所在地	武雄市山内町大字三間坂甲14697番地2	
非公募	指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日	評価実施年 5年のうち5年目

2 利用状況

成果指標	目標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1 施設利用者数（人）	203,000	206,856	202,695	202,145	199,745	198,005
2 レジ売上額（千円）	206,500	200,000	198,000	202,000	206,000	210,000

3 指定管理業務にかかる収支状況

単位：千円

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入計	66,380	45,545	49,643	50,313	54,841
指定管理料	7,246	7,246	7,246	7,246	7,246
自主事業収入ほか	59,134	38,299	42,397	43,067	47,595
支出計	66,614	46,963	45,157	48,967	52,254
事業費	7,246	7,246	7,246	7,246	7,246
内 人件費	1,342	1,342	1,342	1,342	1,342
内 再委託料	3,215	2,667	2,979	2,896	3,437
自主事業費	59,368	39,717	37,911	41,721	45,008

4 事業評価

区分	評価項目	自己評価	所管評価
1 人員体制	施設の運営に支障がないスタッフの配置と研修の実施	B	A
2 情報提供	ホームページやSNS、掲示板、回覧板等適切な方法での施設の情報提供がされている。	B	B
3 サービス向上の企画立案	サービス向上のための取組があり、実践している。	B	B
4 施設利用	利用者が施設利用にあたってスムーズに手続きができる。 利用者が不便なく施設利用ができる。	A	C
5 施設維持管理	施設の維持管理が適正に行われている。	A	C
6 物品の管理	物品の管理が適正に行われている。	A	B
7 修繕改修	施設の修繕が適正に行われている。	B	B
8 利用者対応	利用者への対応が適正に行われている。	A	B
9 苦情対応	利用者からの苦情に対して、対応ができている。	A	B
10 環境配慮	周辺環境や環境負荷に配慮した取組があり、実践している。	A	B
11 経費削減	経費削減につながる取組があり、実践している。	A	A

※評価基準

A	十分な成果が認められる。業務に対し積極的な工夫や改善の取組がみられ、成果が表れている。
B	成果が認められる。業務に対し工夫や改善の取組みがみられ、今後成果が期待される。
C	標準的な業務の水準を満たしている。
D	業務の水準に対し改善すべき事項がみられる
E	業務の水準を満たしておらず、すみやかな改善が必要である。

5 指定管理者の自己評価

- 消費税に関するインボイス制度の理解促進への取組・・・取組対策は良
- 提携市町村との商品交流品の提供の開拓促進・・・雄武町と商品交流を実施中
- 地域振興の機能施設としての道の駅の役割を果たすための取組・・・取組実施中
- 集客が出来るイベントの実施への取組・・・春と秋で集客イベントの取組も良
- 消費者・利用者への的確な食品表示の提供・・・生産者から消費者への的確な食品表示は良

6 所管評価

- 道路利用者のための休憩機能、観光客や地域の方々のための情報発信機能、イベント開催等による地域連携機能など、道の駅として必要な機能を十分果たしている。
- 地元特産品の販売等を行うことにより、地域住民の生きがいづくりや地域活性化につながっている。
- 施設従業員の研修や、食品表示等に関する生産者への指導など、組織の資質向上にも積極的に取り組まれている。また、令和6年度に法人化され組織基盤が強化されたことから、より安定した運営及び民間能力を発揮したサービス向上に取り組まれている。

指定管理者実績報告の概要及び評価

所管課	都市政策課
-----	-------

1 対象施設

公の施設の名称	乳待坊公園いこいの広場キャンプ場		
所在地	武雄市山内町大字宮野1864番地		
施設の設置目的	自然のもつ豊かな資源の活用を通じ、市民に憩いの場を提供することにより、資源愛護思想の普及と健康の増進を図るため		
指定管理者	団体名	株式会社ヒューテック	
	所在地	武雄市北方町大字大崎1100番地8	
公募	指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日	評価実施年 5年のうち3年目

2 利用状況

成果指標	目標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
1 施設利用者数 (人)	5,000	6,555	4,836	3,901		
2 自主事業収入 (千円)	240	364	376	341		

3 指定管理業務にかかる収支状況

単位：千円

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入計	11,733	11,201	10,756		
指定管理料	8,882	8,882	8,882		
利用料収入	2,487	1,943	1,533		
自主事業収入ほか	364	376	341		
支出計	10,483	10,048	9,597		
事業費	9,877	8,696	9,518		
内 人件費	5,975	6,266	7,131		
内 再委託料	3,902	2,430	2,387		
自主事業費	606	1,352	79		

4 事業評価

区分	評価項目	自己評価	所管評価
1 人員体制	施設の運営に支障がないスタッフの配置と研修の実施	A	B
2 情報提供	ホームページやSNS、掲示板、回覧板等適切な方法での施設の情報提供がされている。	B	B
3 サービス向上の企画立案	サービス向上のための取組があり、実践している。	B	B
4 施設利用	利用者が施設利用にあたってスムーズに手続きができる。 利用者が不便なく施設利用ができる。	A	A
5 施設維持管理	施設の維持管理が適正に行われている。	A	A
6 物品の管理	物品の管理が適正に行われている。	B	B
7 修繕改修	施設の修繕が適正に行われている。	A	B
8 利用者対応	利用者への対応が適正に行われている。	A	A
9 苦情対応	利用者からの苦情に対して、対応ができている。	B	B
10 環境配慮	周辺環境や環境負荷に配慮した取組があり、実践している。	A	B
11 経費削減	経費削減につながる取組があり、実践している。	A	B

※評価基準

A	十分な成果が認められる。業務に対し積極的な工夫や改善の取組がみられ、成果が表れている。
B	成果が認められる。業務に対し工夫や改善の取組みがみられ、今後成果が期待される。
C	標準的な業務の水準を満たしている。
D	業務の水準に対し改善すべき事項がみられる
E	業務の水準を満たしておらず、すみやかな改善が必要である。

5 指定管理者の自己評価

指定管理3年目であったが、今年度も年間を通して大きな事故等もなく無事に1年間運営ができたと思う。施設面では、常設のコインシャワーを設置した。黒髪温泉閉鎖後は、近場でお風呂に入れなくなつたという問題を解決すべく、乳待坊にコインシャワーを設置した。設置後～9月までは多くの利用が見られたが、10月になり気温が落ちてくると、利用頻度は一気に下がった。しかし、利用者からは汗を流せるのは助かるとの声を多くいただいた。またシャワー利用者は、キャンプ利用者だけでなく、登山客、散歩がてらシャワーを浴びに来られる方など乳待坊のキャンプ利用者以外にも需要があった。

6月には杵藤地区消防署の救助訓練の場所としても活用していただいた。実際に乳待坊で遭難事故が発生した際の訓練を行われていた。乳待坊の新たな活用法であったと思われる。

イベントでは、8月に水鉄砲合戦を開催した。子供の部と大人の部に分け、子供から大人まで楽しめるイベントとなった。参加者からも、来年もぜひ開催してほしいとの声も多く、今年は昨年よりブランクアップして大会を開催したいと考えている。

11月には3年目にして初めて武雄の物産祭りにも出店者として参加した。焼きマシュマロと焚き火コーナーを準備し、物産祭り内のホットステーションとして、くつろいで休憩できるような場所を提供した。マシュマロは2日間で416本を売り上げることができた。今年も参加したいと考えている。

3年目はキャンプ場としてコインシャワーや訓練の場所、物産祭りに出るなどキャンプ場としてだけではない、今までと違った動きができたと思っています。4年目は夏場や冬場の厳しい時期に、お客様に喜ばれる施策を検討していきたい。

6 所管評価

指定管理3年目となり、SNSによる情報発信、施設の管理や利用者対応も適切に行ってもらっている。また、工夫を凝らしたイベントも企画され、多数の参加がっている。天候やキャンプブーム等の落ち着きによる影響で、利用者数は減少傾向にあるが指定管理前よりは増えており、引き続き、利用者の利便性の向上とキャンプ場の魅力化を図り、利用者数の増加を目指していただきたい。加えて、周辺地域の振興につながるような取り組みも期待したい。

指定管理者実績報告の概要及び評価

所管課	都市政策課
-----	-------

1 対象施設

公の施設の名称	武雄市矢筈ダム広場		
所在地	武雄市西川登町大字神六28819番地1		
施設の設置目的	余暇時間の活用及びレクリエーションの場として市民の使用に供するため		
指定管理者	団体名	西川登町町づくり推進協議会	
	所在地	武雄市西川登町大字神六20114番地4	
非公募	指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日	評価実施年 5年のうち5年目

2 利用状況

成果指標	目標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1 施設利用者数 (人)		417	282	929	3,712	2,869
2 施設利用収入 (円)		2,080	16,640	37,440	2,620	3,640

3 指定管理業務にかかる収支状況

単位：円

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入計	1,458,079	1,490,216	1,496,022	1,443,043	1,444,150
指定管理料	1,440,000	1,440,000	1,440,000	1,440,000	1,440,000
利用料等収入	2,080	24,640	55,440	2,620	3,640
自主事業収入ほか	15,999	15,576	582	423	510
支出計	1,458,079	1,490,216	1,496,022	1,443,043	1,444,150
事業費	1,458,079	1,490,216	1,496,022	1,443,043	1,444,150
内 施設管理費	782,759	926,594	900,556	1,003,063	1,000,840
内 植栽管理費	650,580	450,880	560,000	328,000	398,000
内 一般管理費	24,740	112,742	35,466	67,180	45,310
内 備品購入費				44,800	

4 事業評価

区分	評価項目	自己評価	所管評価
1 施設利用	利用者が施設利用にあたってスムーズに手続きができる。 利用者が不便なく施設利用ができる。	C	B
2 施設維持管理	施設の維持管理が適正に行われている。	A	A
3 物品の管理	物品の管理が適正に行われている。	B	B
4 修繕改修	施設の修繕が適正に行われている。	B	B
5 利用者対応	利用者への対応が適正に行われている。	C	B
6 苦情対応	利用者からの苦情に対して、対応ができている。	C	B
7 環境配慮	周辺環境や環境負荷に配慮した取組があり、実践している。	C	B
8 経費削減	経費削減につながる取組があり、実践している。	C	B

※評価基準

A	十分な成果が認められる。業務に対し積極的な工夫や改善の取組がみられ、成果が表れている。
B	成果が認められる。業務に対し工夫や改善の取組みがみられ、今後成果が期待される。
C	標準的な業務の水準を満たしている。
D	業務の水準に対し改善すべき事項がみられる
E	業務の水準を満たしておらず、すみやかな改善が必要である。

5 指定管理者の自己評価

施設の利用については、イベント開催（矢筈ダム30周年記念）で大幅増となった令和5年度まではいかなかつたが、グラウンドゴルフ、野球等の練習等の利用が増えてきている。
また、施設の維持管理（除草、剪定等）が適正に行われているため、施設利用者から利用しやすいとの意見を頂いており、口コミなどで、町内はもとより、市内外の方からも利用が増えていている。
施設付帯設備のベンチ、トイレのドア等の修繕を令和5年度に実施し、設備の状況確認等を適宜行い、施設の利用者が安心して利用できるよう努めた。
全体的に見て、施設は適正に管理ができている。

6 所管評価

施設の管理や利用者対応について、問題なく実施されている。
2年前（令和5年度は矢筈ダム30周年記念イベントあり）より利用者が増加しており、引き続き、適切な維持管理と利用者の利便性向上をお願いしたい。

指定管理者実績報告の概要及び評価

所管課	建築住宅課
-----	-------

1 対象施設

公の施設の名称	武雄市営住宅等		
所在地	武雄市武雄町大字武雄3340番地2 他16団地		
施設の設置目的	住宅に困窮する低所得者に対して低廉な家賃で住宅を賃貸することにより市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与すること		
指定管理者	団体名	武雄ガス株式会社	
	所在地	武雄市武雄町大字永島15943番地	
公募	指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日	評価実施年 5年のうち5年目

2 利用状況

成果指標	目標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1 管理戸数		873	855	855	855	855
2 入居戸数		743	728	717	702	684

3 指定管理業務にかかる収支状況

単位：千円

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入計	30,580	33,407	33,407	33,407	33,407
指定管理料	30,580	33,407	33,407	33,407	33,407
利用料収入	0	0	0	0	0
自主事業収入ほか	0	0	0	0	0
支出計	33,252	34,160	33,351	33,198	33,865
事業費	26,110	28,193	28,299	28,983	29,393
内 人件費	8,083	8,007	7,819	7,914	8,290
内 事務所経費	3,128	2,582	2,810	2,841	2,559
内 再委託料	14,899	17,604	17,670	18,228	18,544
修繕費	7,141	5,967	5,052	4,215	4,472
自主事業費	0	0	0	0	0

4 事業評価

区分	評価項目	自己評価	所管評価
1 人員体制	施設の運営に支障がないスタッフの配置と研修の実施	A	C
2 情報提供	ホームページやSNS、掲示板、回覧板等適切な方法での施設の情報提供がされている。	B	C
3 サービス向上の企画立案	サービス向上のための取組があり、実践している。	A	C
4 施設利用	利用者が施設利用にあたってスムーズに手続きができる。 利用者が不便なく施設利用ができる。	A	B
5 施設維持管理	施設の維持管理が適正に行われている。	A	C
6 物品の管理	物品の管理が適正に行われている。	B	C
7 修繕改修	施設の修繕が適正に行われている。	A	C
8 利用者対応	利用者への対応が適正に行われている。	A	C
9 苦情対応	利用者からの苦情に対して、対応ができている。	A	C
10 環境配慮	周辺環境や環境負荷に配慮した取組があり、実践している。	B	C
11 経費削減	経費削減につながる取組があり、実践している。	C	C

※評価基準

A	十分な成果が認められる。業務に対し積極的な工夫や改善の取組がみられ、成果が表れている。
B	成果が認められる。業務に対し工夫や改善の取組みがみられ、今後成果が期待される。
C	標準的な業務の水準を満たしている。
D	業務の水準に対し改善すべき事項がみられる
E	業務の水準を満たしておらず、すみやかな改善が必要である。

5 指定管理者の自己評価

予算の範囲内では十分に取り組みは出来ていると思います。

6 所管評価

生活困窮者のための住宅という趣旨を充分理解され、公平で円滑な業務を遂行して頂いている。今後は、業務の質の向上に向け自主的考察による市への提案、相談、また住宅の定期的な巡回を増やすことで、修繕等が必要な箇所を素早く把握しすみやかな実施を期待する。

指定管理者実績報告の概要及び評価

所管課	文化課
-----	-----

1 対象施設

公の施設の名称	武雄市図書館・歴史資料館		
所在地	武雄市武雄町大字武雄5304番地1		
施設の設置目的	市民の教育、学術及び文化の振興を図るため、図書、記録、歴史資料その他必要な情報を提供する生涯学習施設		
指定管理者	団体名	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社	
	所在地	大阪府枚方市岡東町12番2号	
公募	指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日	評価実施年 5年のうち2年目

2 利用状況

成果指標	目標	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1 来館者数（人）	800,000	872,007	891,767			
2 図書利用者（人）	120,000	128,502	129,668			
3 図書貸出数（冊）	350,000	372,722	364,462			
4 開館日数（日）	365	365	364			
5 利用満足度（本館）	80.0%	95.8%	94.2%			
6 利用満足度（こども館）	80.0%	99.5%	100.0%			

3 指定管理業務にかかる収支状況

単位：千円

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
収入計	189,181	189,133			
うち指定管理料	188,992	188,992			
支出計	189,190	198,055			
うち出版物購入費	15,381	15,018			
うち講座等運営費	5,990	5,606			
うち設備管理費	15,516	13,904			
うち水道光熱費	16,239	18,671			
うち人件費	105,909	114,693			

4 事業評価

区分	評価項目	自己評価	所管評価
1 必須事業	読み聞かせ、各種講座、イベント等の必須事業が確実に実施されているか。	A	A
2 提案事業	市民の利便性向上、市民がより豊かな生活を実現するための事業を積極的に行っているか。	A	A
3 図書館管理業務	窓口サービス、レファレンスなど適切に行っているか。また、選書基準を遵守しているか。	A	A
4 人員体制	円滑な管理運営のために必要な人員を配置しているか。また、職員研修を実施しているか。	B	B
5 サービスの向上	利用者の意見を反映し、サービス向上に向けた取組みを行っているか。	A	A
6 施設、備品等の維持管理	施設、設備の保守点検、安全確認など確実に実施し、修繕対応など速やかに行っているか。	B	B
7 環境への配慮	周辺環境や環境負荷に配慮した取組みを実践しているか。	B	B
8 広報・誘客対策	魅力的な情報発信を行っているか。また、新たな誘客のための工夫を行っているか。	A	A
9 地域との連携	ボランティア団体、地域団体、学校、公民館等と連携を図っているか。	B	B
10 自主事業	指定管理業務に支障が出ない範囲において、カフェ等魅力を高める事業を行っているか。	A	A
11 経費削減	コスト意識を持ち、サービスの低下につながらない範囲で経費削減の取組みを行っているか。	C	D

※評価基準

A	十分な成果が認められる。業務に対し積極的な工夫や改善の取組みがみられ、成果が表れている。
B	成果が認められる。業務に対し工夫や改善の取組みがみられ、今後成果が期待される。
C	標準的な業務の水準を満たしている。
D	業務の水準に対し改善すべき事項がみられる
E	業務の水準を満たしておらず、すみやかな改善が必要である。

5 指定管理者の自己評価

令和6年度は、観光客の増加もあり来館者数は891,767人となり、前年度比102.3%と順調に増加している。図書貸出冊数は364,642冊と前年度比97.8%、図書利用者数は129,668人で前年度比100.9%と前年並みに推移した。2月にはリニューアル後の来館者数が1,000万人に達しセレモニーを行った。インバウンドの増加によるメディア取材も受けた。

利用者アンケートでは利用者満足度が本館94.2%（前年度：95.8%）、こども館100%（前年度：99.5%）と前年度同様、高い水準を保つ結果となった。

イベントではこども館において新たに「キッズラボ～こども図書館おしごと研究室～」を開始した。武雄や佐賀の人々や企業が先生となり、「知る」+「体験する」機会を提供することで、子どもたちが将来の自分を描き、地域企業や伝統技術に興味を持つ機会となった。また地域の方々にとっても、自分たちの仕事に誇りを持つきっかけとなった。

6 所管評価

令和6年度の利用状況は前年比を超えており、リニューアル後の来館者数が1,000万人に達した。市民の生活を豊かにするきっかけとなるようなイベントや講座の実施、国内外の観光客に向けた情報発信などにより、常に話題性に富んだ図書館としての認知度が定着していることも好調な要因であると考えられる。

武雄市図書館・歴史資料館協議会による外部評価では、総合評価A（指定管理者として適切）という評価であり、また、11月に実施した利用者アンケートの満足度調査でも満足度94%を超える結果となっており、指定管理者制度の導入以降高評価を維持し続けている。物価高騰等の影響でサービス低下にならないよう様々な工夫をしながら、市民及び地域団体と更なるつながりを深めると同時に、ビジネス支援等の今後の新たな取り組みに期待したい。

指定管理者実績報告の概要及び評価

所管課	スポーツ課
-----	-------

1 対象施設

公の施設の名称	武雄市体育施設		
所在地	武雄市武雄町大字4866番地 他26件		
施設の設置目的	市民の体育の普及振興を図り、もって市民の健康の増進に寄与するため		
指定管理者	団体名	武雄市体育施設管理運営共同企業体	
	所在地	武雄市朝日町大字甘久3589番地2	
公募	指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日	評価実施年 5年のうち2年目

2 利用状況

成果指標	目標	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1 施設利用料収入（千円）	25, 588	16, 261	20, 516			
2 自主事業収入（千円）	12, 445	4, 656	7, 147			

3 指定管理業務にかかる収支状況

単位：千円

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
収入計	147, 269	154, 013			
指定管理料	126, 350	126, 350			
利用料収入	16, 262	20, 516			
自主事業収入ほか	4, 657	7, 147			
支出計	147, 269	154, 013			
事業費	145, 742	152, 463			
内 人件費	57, 630	53, 489			
内 再委託料	42, 275	41, 833			
自主事業費	1, 527	1, 550			

4 事業評価

区分	評価項目	自己評価	所管評価
1 人員体制	施設の運営に支障がないスタッフの配置と研修の実施	C	C
2 情報提供	ホームページやSNS、掲示板、回覧板等適切な方法での施設の情報提供がされている	B	B
3 サービス向上の企画立案	サービス向上のための取組があり、実践している。	C	B
4 施設利用	利用者が施設利用にあたってスムーズに手続きができる。 利用者が不便なく施設利用ができる。	B	B
5 施設維持管理	施設の維持管理が適正に行われている。	C	C
6 物品の管理	物品の管理が適正に行われている。	C	C
7 修繕改修	施設の修繕が適正に行われている。	C	C
8 利用者対応	利用者への対応が適正に行われている。	D	C
9 苦情対応	利用者からの苦情に対して、対応ができている。	C	C
10 環境配慮	周辺環境や環境負荷に配慮した取組があり、実践している。	D	D
11 経費削減	経費削減につながる取組があり、実践している。	C	C

※評価基準

A	十分な成果が認められる。業務に対し積極的な工夫や改善の取組がみられ、成果が表れている。
B	成果が認められる。業務に対し工夫や改善の取組みがみられ、今後成果が期待される。
C	標準的な業務の水準を満たしている。
D	業務の水準に対し改善すべき事項がみられる
E	業務の水準を満たしておらず、すみやかな改善が必要である。

5 指定管理者の自己評価

使用料及び使用人数は、見込み以上の数値を記録。H P・S N S の活用や空調設備の充実・利用者のリピートにより少しずつ稼働率・認知度は向上、市民以外の大会／イベント利用も増加しており、令和6年度使用料実績は前年比129.6%と順調に推移しております。窓口対応では、ご利用者様より対応の仕方についてご指摘が多かったため、接客・接遇の研修を全スタッフ実施。研修以降は指摘もなく一定の成果が見られました。また、施設の維持管理及び修繕につきましても滞りなく実施できています。改善点としては施設の環境美化の整備と感じております。特に春～夏の期間に関しては、ご利用者様が安全に気持ちよく利用できるように見直しを図っていきます。

6 所管評価

サービス向上の取組について、自己評価は「C」とされているが、実際には新規事業の企画や稼働率向上に向けた工夫が複数実施されており、今後に向けて一定の成果が期待できる。具体的には、小学生を対象とした運動のきっかけづくりを狙ったイベントや高齢者を対象とした糖尿病教室、卓球・バドミントンの用具レンタルなどの取り組みがあることから、所管評価は「B」とする。今後も、効果検証と改善を繰り返すことで、継続的なより良い取り組みを期待する。

利用者対応について、自己評価は「D」とされている。当初、接遇面について利用者から改善を求める指摘がスポーツ課にも寄せられたが、指定管理者において研修を実施した結果、改善が確認されていることから、所管評価は「C」とする。今後、対応記録の整理や改善事例を蓄積・共有することで利用者満足度の更なる向上を期待する。

環境配慮については、スポーツ課としても同様の課題を認識している。利用者からもご指摘が寄せられているため、次年度に向け早急な改善を求める。

全体評価として、指定管理者の業務運営は概ね計画に沿っており、施設の安全確保や基本的な管理水準は維持されている。接遇の改善など利用者サービスにも前向きな姿勢が見られる。一方で、施設周辺の草刈りや除草といった環境整備については、特に繁忙期は作業が追いつかず、改善が課題である。作業員の確保が難しい事情はあるが、工夫を重ね計画的に実施することで、より良い環境づくりにつながることを期待する。